

地理第3問

設問A

図3-1は、ヨーロッパの主な国について輸出品構成と研究開発支出の割合をみたものである。

(1) 図3-1のA～Dは、オランダ、スイス、ノルウェー、ポーランドのいずれかである。A～Dの国名を、それぞれAー○のように答えなさい。

(2) イタリアでは、繊維製品の割合が、他の国に比べ大きくなっている。とりわけイタリアの中・北部は、1980年代に「第3のイタリア」と呼ばれ、国際競争力のある繊維産地が形成されてきた。こうした地域では、繊維製品の生産にどのような特徴がみられたか、下の語群の中から適当な用語2つ以上を用いて2行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

(3) スウェーデンやフィンランドといった北欧諸国では、GDPに占める研究開発支出の割合が高くなっている。その理由として考えられることを、下の語群の中から適当な用語2つ以上を用いて2行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

語群

外国人労働者 家族 教育 高度人材 集積
人口 多国籍企業 中小企業 デザイン 分業

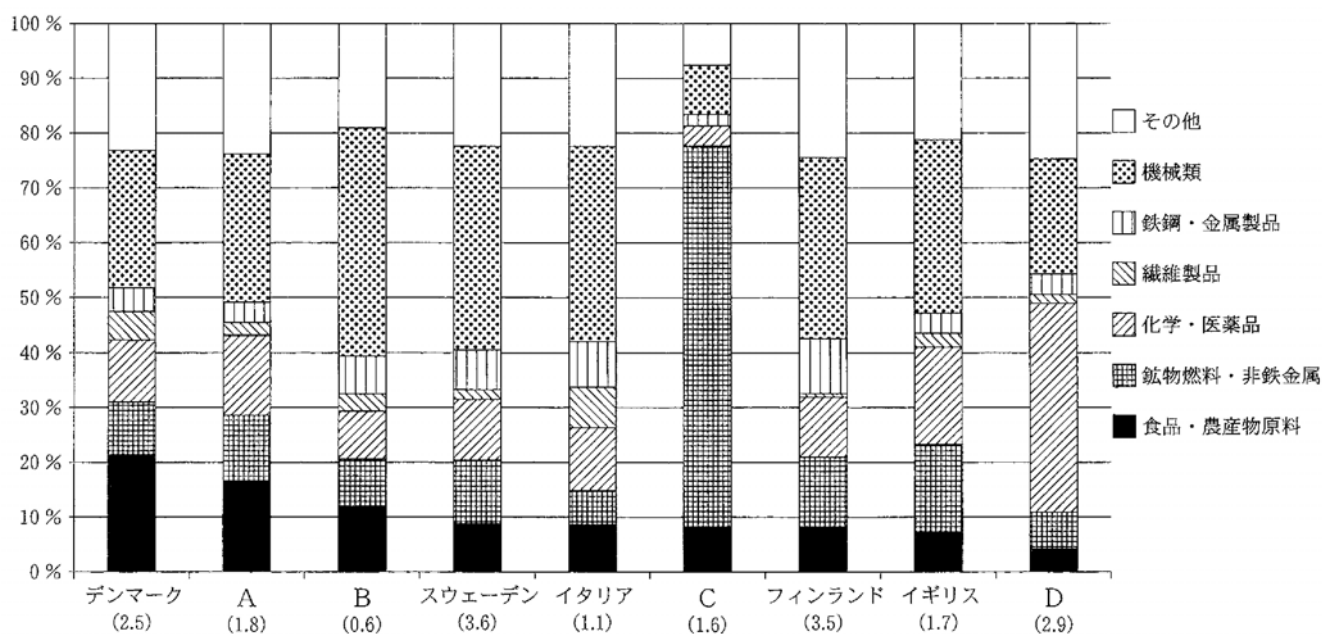


図3-1 ヨーロッパ主要国における輸出品構成(2010年)

【ヨーロッパの貿易品・格差縮小のための政策】

● EU(欧州連合)の加盟国および域内経済統合に関する下記の問いに答えなさい。(3)

問1 表1, 表2の(a)(b)(c)(d)に該当する国の名前を挙げ、なぜそのように判断したのかをそれぞれについて説明しなさい。ただし、表1と表2の同じ記号は同じ国を示すものとする。(全体で150字以内)

問2 表1によれば、1990年代に入ってから、一人あたり国民総生産の低い加盟国においてEUの平均水準との差が顕著に縮小している。そのような経済格差の縮小を、1990年代前半における制度的変化の視点から100字以内で説明しなさい。

問3 しかし、最近に至るまでEU加盟国間には依然として大きな経済格差が残っている。格差を縮小するためにEUがこれまで実施してきた主要な政策を挙げ、その政策の可能性と限界についてあなたの考えを150字以内でまとめなさい。

表1 EU加盟15力国の経済格差の推移
(国民一人あたり国民総生産; EU平均を100とする相対値)

国名	1970年	1980年	1990年	1998年
ルクセンブルク	126	168	168	204
(a)	139	134	130	149
オーストリア	88	104	110	121
ドイツ	128	137	129	120
スウェーデン	176	153	138	116
ベルギー	118	124	102	115
オランダ	106	123	102	112
(b)	104	108	142	110
フランス	135	125	113	109
イギリス	99	95	93	97
イタリア	77	71	98	91
(c)	59	55	60	85
スペイン	44	58	64	64
(d)	47	46	35	53
ポルトガル	29	26	29	48

注: 配列は1998年のランキング順位に基づくドイツの1990年までの数値は西独地域のみ

表2 EU加盟国の主要貿易品目(1997年)

(a)		(b)	
輸出(百万ドル)	輸入(百万ドル)	輸出(百万ドル)	輸入(百万ドル)
機械類.....10,990	機械類.....10,869	機械類.....13,586	機械類.....9,342
肉類.....4,134	自動車.....3,325	紙類.....7,968	自動車.....2,146
医薬品.....2,273	衣類.....2,173	鉄鋼.....1,923	原油.....1,407
魚介類.....2,094	鉄鋼.....1,587	木材.....1,748	鉄鋼.....1,097
家具.....2,022	金属製品.....1,399	自動車.....1,250	衣類.....905
衣類.....1,587	プラスチック.....1,294	船舶.....912	プラスチック.....810
酪農品.....1,505	繊維品.....1,134	石油製品.....904	金属製品.....689
金属製品.....1,307	魚介類.....1,132	パルプ.....810	精密機械.....655
精密機械.....1,217	紙類.....982	プラスチック.....707	有機化合物.....619
自動車.....1,002	原油.....877	金属製品.....705	医薬品.....619
計×.....48,801	計×.....44,492	計×.....40,980	計×.....31,001
(c)		(d)	
輸出(百万ドル)	輸入(百万ドル)	輸出(百万ドル)	輸入(百万ドル)
機械類.....19,568	機械類.....14,795	衣類.....1,632	機械類.....4,424
有機化合物.....6,094	自動車.....2,294	石油製品.....841	自動車.....2,073
医薬品.....3,334	有機化合物.....1,162	機械類.....740	原油.....1,125
精密機械.....1,715	衣類.....1,083	果実.....699	繊維品.....1,095
肉類.....1,586	医薬品.....895	アルミニウム.....410	医薬品.....958
酪農品.....1,247	金属製品.....772	繊維品.....389	衣類.....935
アルコール飲料.....713	プラスチック.....728	オリーブ油.....363	鉄鋼.....903
香料・化粧品.....582	繊維品.....687	野菜.....354	肉類.....808
繊維品.....539	石油製品.....641	葉たばこ.....347	船舶.....636
衣類.....493	鉄鋼.....541	綿花.....310	プラスチック.....631
計×.....53,258	計×.....39,206	計×.....10,795	計×.....25,209

注: 表中の計×は輸出ないし輸入金額の総計であり、表に示された上位10品目の合計金額を上回る。

◆コメント◆

イタリアのファッション産業を小規模経営と結びつけて論じさせるあたりは、完全に思考型の常識問題です。

設問 B

表 3-1 は、EU の加盟国であるドイツ、フランス、スペインについて、2011 年時点での EU 域内相手と EU 域外相手に分けた貿易額、および、各国の EU 域内相手と EU 域外相手を含めた輸出上位品目を示している。なお、貿易収支はそれぞれの輸出と輸入の差額である。また、表 3-1 中の輸出上位品目は、図 3-1 の輸出品目構成とは分類が異なる。

- (1) スペインとフランスはいずれも貿易収支が赤字であるが、フランスでは、その赤字の多くが EU 域内との貿易で生じている。フランスの貿易で、EU 域内との貿易赤字が最も大きいのは機械類や輸送用機器であるが、これらも EU 域外との貿易収支は黒字となっている。こうした現象が起こる理由として考えられることを、2 行以内で述べなさい。
- (2) スペインには、世界的に知られている自動車のブランドが見られないのに、自動車が輸出第 1 位となっている。その理由を、スペイン国内外の状況にふれながら、3 行以内で述べなさい。
- (3) 表 3-2 は、EU 全体から見た貿易収支が大きな赤字となっている EU 域外の相手国を示している。それぞれの相手国で、EU が貿易赤字を抱える理由が、どう異なっているのかを、2 行以内で述べなさい。

表 3-1

(2011 年)

国	EU 域内			EU 域外			輸出上位品目			
	輸出	輸入	貿易収支	輸出	輸入	貿易収支	1 位	2 位	3 位	4 位
ドイツ	628	572	56	431	330	101	機械類	自動車	化学品	電気機器
スペイン	147	154	-7	74	117	-43	自動車	化学品	鉄鋼等	機械類
フランス	261	348	-87	167	169	-1	化学品	機械類	自動車	航空機

Eurostat および通商白書 2012 年による。

表 3-2

(2011 年)

相手国	輸出	輸入	貿易収支
中国	136	293	-157
ロシア	108	199	-91
日本	49	69	-20

Eurostat による。

【EU 統合と域内貿易・域外貿易・賃金状況・アジアの脅威】

- ★ 第 1 問 図は欧州、北米、南米、東アジアの 4 地域について、「域外輸入結合比率」と「域内輸入比率」の推移を表示したものである。次の説明を読み、以下の問に答えよ。(夏)

「域外輸入結合比率」は輸入面での域外との結び付きの強さを表す指標であり、「域内輸入比率」は輸入面での域内の結び付きの強さを表す指標である。それぞれの指標は、例えば欧州を例に取り上げると、次のように定義されている。

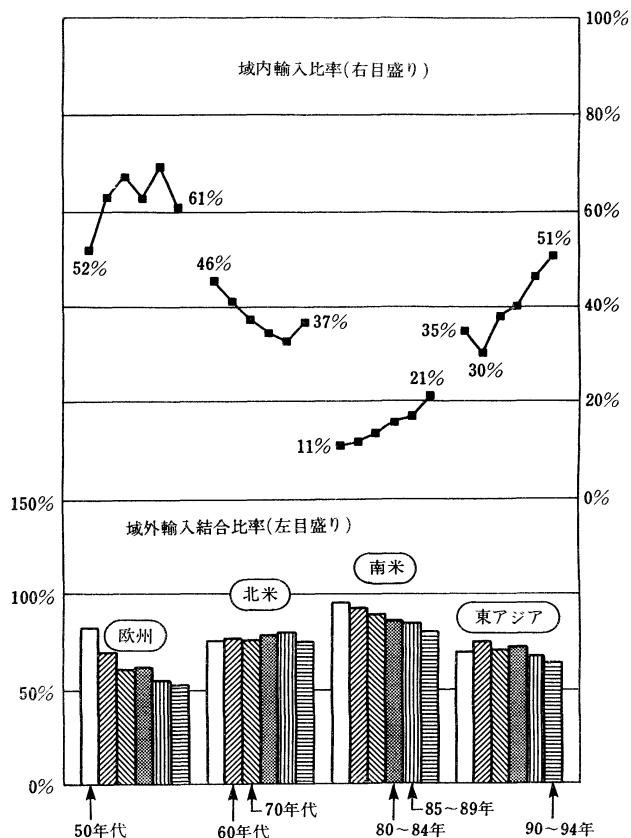
域外輸入結合比率 (%) :

$$\frac{(\text{欧州諸国の総輸出額に占める欧州以外の諸国からの輸入額の比率})}{(\text{全世界の輸出額に占める欧州以外の諸国の輸出額の比率})}$$

域内輸入比率 (%) : $(\text{欧州諸国による欧州諸国からの輸入額}) \div (\text{欧州諸国の総輸入額})$

この図によれば、両指標の推移は各地域でそれぞれ異なっている。欧州と東アジア地域を比較して、域外輸入結合比率と域内輸入比率の変化がそれぞれの地域の貿易構造のどのような変化を意味しているのか、またそのような貿易構造の変化をもたらした理由としてどのような原因が考えられるか。14 行以内でできる

だけ具体的に説明せよ。



【ヨーロッパの域内貿易優先政策】

★ ヨーロッパ諸国の国際関係は、三つの主要な共通の政策によって互恵的に発展してきている。その一つは共通通貨政策であるが残る二つの主要な共通政策は何か。合わせて7行以内で具体的に説明せよ。(3)

◆コメント◆

第2問Bと似たテーマで、今年はEU重視が打ち出されています。

◆全体コメント◆

ますます知識不要で、思考型の面白い出題となっています。といっても、常識的な知識は必要なのと、それを使えるかどうかはまた別の素質になるので、そのあたりに焦点を当てた対策が望まれます。